

「縁」に導かれて、 外国人住民と地域を つなぐ架け橋に

于 大偉 (ウ ダイイ) さん

中国の遼寧省大連市出身。勝山市にある縫製会社で、主に生産管理の業務に携わる。2020年にふくい外国コミュニティリーダーとして委嘱。

2021年1月の大雪の際に、職場の中国人スタッフら17名と勝山市内の小学校の通学路の雪かきボランティアを行うなど、地域貢献・地域交流活動に積極的に取り組んでいる。



—日本に来たきっかけは？

小さい頃から日本に縁があったんです。私の祖父は、日本語学校に通っていたので日本語が少しできました。だから日本人の友だちもたくさんいましたし、祖父の家に行くと、テーブルに日本料理が並ぶこともあり。当時の私にとって、日本料理はとても珍しく、そして美味しくて…。

また、大連には日系企業がたくさん進出しているので、身近に日本の文化がありました。日本語ができると仕事を見つけやすくなるので、日本語を勉強する環境もあり、自然と日本に興味を持ち始めましたね。

日本に来たのは、大連の大学で2年間日本語を勉強した後、3年次に岡山県の大学にダブルディグリー制度（単位互換制度）で編入したのがきっかけです。最初に日本に来たのが2011年4月だったんですが、ちょうど3月に東日本大震災が起きたばかりで、中国でもとても話題になっていましたから、家族は私が行くことをとても心配していました。

でも、大学は岡山県だったので（被災地から）距離が離れているし、日本の大学に行く意志も固かったんで、予定どおり日本に行くことにしました。その後、神戸の大学院に進学し、大阪にあるパイプの製造会社に就職しました。

—その後、福井に来られた経緯は？

実は、福井とも縁があったんです。大阪の会社を辞めた後、一度中国に帰って、しばらく大連の会社で働いていたんですが、その会社がたまたま今働いている会社の取引先で、その時に今の会社の社長と出会ったのが福井に来たきっかけです。

それから、現在まで勝山市にある制服のズボンを縫製する会社で働いています。主に生産管理を任されていますが、その他にもいろんな仕事をしています。特にうちの会社は、中国やベトナムから来ている技能実習生が多くいるので、彼女たちの生活のサポートなどもしています。

—初めて福井に来た時の印象はいかがでしたか。

福井に来た次の日から仕事を始めましたが、これまでの日本や大連での生活と違和感なく、過ごすことができました。それぐらい馴染むのに時間はかからなかったということです。

福井は、自然がいっぱいですし、近くにスーパーもあり、とても便利です。あと、食べ物がおいしいですね。最近、ソースカツ丼じゃなくて「醤油カツ丼」にハマってしまって、月に何回も食べに行きます。

そういえば、福井に来る前に福井出身の方から、福井の裁判所の外観は大連の裁判所と似ていると言われたので調べてみると、本当に似ていてすごく驚きました。

一方で、不便なこともあります。神戸や大阪にいたときは電車やバス、自転車で簡単に移動できましたが、こちらは車がないと不便で、そこに一番驚きました。神戸にいるときに免許は取っていたので、すぐに車を使うようになりました。

あと、今年（2021年1月）、初めてあんなにたくさんの雪を見ました。大連でも少し雪は降りますが、あんなに積もったことはありません。今年初めて雪道を車で運転しましたが、とても怖かったです。雪を見るのはいいですが、通勤とかに時間がかかるしとても不便ですね。



勝山市内の小学校前の通学路を雪かきする于さん

一福井で行ったことのある観光地は？

私は、お寺とかお城などの歴史のある場所に行くのが趣味なんです。特に戦国時代が好きで、日本の戦国時代の武将、織田信長とか明智光秀とかを題材にしたドラマもよく見ます。

たまたま、今やっている大河ドラマに福井がたくさん出てきたので、最近はそのゆかりの場所を巡っています。一乗谷朝倉氏遺跡とか称念寺とか、あと金ヶ崎宮に行きました。時間があつたら、彦根とか長浜や琵琶湖の東側にも行ってみたいと思っています。ちなみに、私の一番好きな武将は「黒田官兵衛」です。

歴史にかかわらず、日本にいる間に全国47都道府県を回るのが目標です。



于さんが撮影した1枚

一今回、ふくい外国人コミュニティリーダーになろうと思ったきっかけは？

私の会社には、中国人技能実習生がいるので、日々彼女たち（技能実習生）の生活のサポートや相談に対応しています。

日本人だったら「当たり前」のことも、日本に来たばかり彼女たちにとっては、「当たり前じゃない」ことがたくさんあります。地域のルールやマナーで分からないこともいろいろあります。

例えば、ゴミ出しのルールにしても、分別するのが当たり前で、種類によって出す曜日が違ったり、地域のゴミステーションに出せないものがあったりしますよね。日本の役所はとても親切で、ゴミの種類のイラストが入ったカレンダーをくれますが、それでも彼女たちにとっては分からないこともあるので、一つ一つ説明します。

私自身、まだまだ日本の文化とか習慣、特に地域のルールなど分からない部分も多いので、コミュニティリーダーになって、いろいろなことを経験して、学びたいと思っています。そして、日本に来たばかりの技能実習生たちが日本で生活しやすくなるように、地域のルールや情報を正確に伝えられるようになりたいです。

インタビュー実施日：2021年1月31日

一これから外国人コミュニティリーダーとしてやってみたいことはありますか。

技能実習生の多くが日本語を十分にしゃべれないから、地域の人たちと交流する機会がありません。車を持っていないので、移動も大変です。

せつかく、「縁」があつて日本の福井県勝山市に来ているなら、もっと勝山市の人たちと交流して、いろいろな経験をしてもらいたいと思っています。

今はコロナウイルスの影響で、いろんなイベントが中止になっていますが、コロナが落ち着いたら、技能実習生たちと一緒に地域の祭りやイベントに、積極的に参加したいと思っています。特に、勝山の『左義長まつり』には参加してみたいです。

雪かきボランティアの活動について

2021年1月初旬、嶺北を中心に降り続いた大雪で平野部でも1mほどの積雪がありました。

雪かきなどで困っている人がいたら、手伝いたいと于さんから申し出があり、于さんや中国出身の技能実習生計17名が、勝山市内の小学校で通学路の雪かきを行いました。

後日、同校の児童から于さんたちに感謝状が贈られました。



于さんと技能実習生のみなさん



児童が書いた感謝状。中には中国語で書かれたものも。

©ふくい外国人コミュニティリーダーとは？

「外国人県民が安心して暮らせる福井」を目指し、外国人県民等のネットワークを活かし、県内の外国人コミュニティに生活・災害情報を届けたり、日本人県民とのコミュニケーションの橋渡しや災害時の自助・共助等の担い手としてご活躍いただいています。詳しくはこちら⇒

